

みたけ未来トーク 事前質問

No.	質問（要約）	担当課	回答
	○新庁舎等整備事業について		
1	おおよその概算設計の公開日、当該設計に対する町民意見聴取日を教えてほしい。	庁舎整備室	新庁舎の設計にあたっては町民の皆様が利用しやすい庁舎機能を導入するべく、皆様よりご意見をお聞きしながら進めてまいります。7月と12月頃にワークショップの開催を予定していますのでぜひご参加ください。 頂いたご意見やアイデアについては可能な限り設計に反映し、令和8年3月頃（予定）に具体的な設計イメージをお示ししてまいります。
2	新庁舎を絡めた「まちづくり」計画について教えてほしい。	庁舎整備室	新庁舎計画地周辺には、願興寺や御嶽宿、みたけの森などの歴史観光資源が多く、新庁舎等整備を契機にこれら一体としたまちづくりや賑わいの創出が期待されます。 特に主要幹線道路（21号BP）に隣接し交通アクセス性が非常に高いことから、マイカーや観光バスをはじめとするパーク＆ライドの導入、公共交通と連携した交通ハブ網の充実など、新たな人流が生まれるターミナル拠点としての役割が期待されます。 こうしたポテンシャルを最大限に発揮できるよう先見性を持って事業を進めてまいります。
	○名鉄広見線について		
3	結論はまだにしても、今までの検討状況について、例えば議会からの提案事項など、途中経過を知りたい。	企画課	名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）については、沿線市町、名鉄、県、国で構成される勉強会における調査・協議の結果、「みなし上下分離方式により鉄道を存続する」もしくは「鉄道は廃線し、バス路線に転換する」のいずれかを選択しなければならない状況となっております。 そのような中、今年3月には、7千筆を超える鉄道存続を求める署名と嘆願書が町長に手交され、また、議会においても鉄道存続を求める請願書が採択されました。 御嵩町の目指すべき姿、持続可能なまちづくりを実現するのに適切な手段はどれであるか、これまで様々な視点から整理し熟慮してきました。 その結果、御嵩町は、「みなし上下分離方式による鉄道存続」の方針を持って、沿線市町や名鉄と協議に臨むこととしました。 なお、本件は御嵩町のみで決定できるものではありませんので、協議の進捗については適切なタイミングで知らせていきたいと考えております。

みたけ未来トーク 事前質問

No.	質問（要約）	担当課	回答
4	結論を今年6月ではなく、もう1年、またはもう半年延ばせないか。どちらの結論になるにしても、後で後悔しないようみんなが納得できる丁寧な議論、資料説明、関係団体である可児市・八百津町との協議を時間をかけて行ってほしい。	企画課	鉄道の有無はとりわけ中学生の進学先の選択に影響します。例年、多くの高等学校が6月頃から中学校3年生向けの学校説明会等の申し込み受付を開始することから、6月を一旦の目途としておりますが、鉄道存廃は大変重要な課題ですので、拙速な判断とならないよう慎重に議論したいと考えています。
5	この重要な時期の「名鉄広見線活性化協議会」になぜ可児市長は出席されないのか。	企画課	他の公務の都合により欠席（副市長代理出席）と伺っております。
6	ケーブルテレビ可児に広見線の特集を組むよう要請してはどうか。	企画課	必要に応じて要請していきます。
7	存続の場合の車両、施設、土地の維持費用114,627千円と施設、土地、設備投資117,467千円の詳細な具体的積算金額を教えてください。	企画課	名鉄から提供いただいたデータを基に算定しています。
8	バス転換の場合の年間総走行距離227,443kmの積算根拠を教えてください。	企画課	現在の当該線区の利用者全数を運べる規模と運行の時間帯を前提に、3つのパターンを設定し、新可児駅～御嵩駅間の走行距離に1日の運行本数と日数を掛け合わせて算出しております。 ①平日（高校あり）：8.5km×77本／日×212日 ②平日（高校休み）：8.5km×69本／日×30日 ③土休日：8.5km×68本／日×123日 ①+②+③＝227,443km／年
9	年間180,000千円の維持管理費はどうするのか。町民1人年間10千円の計算。電車は乗り放題になるのか。	企画課	「みなし上下分離方式による鉄道存続」の場合、維持管理及び設備投資を沿線自治体も負担し運営する方式へ転換します。この費用負担については、今後名鉄との協議や国・県に対する支援を求めることで軽減を目指します。なお、この費用負担は、利用者の運賃を肩代わりするものではなく、当該線区が安全に運行し続けるために必要な支出であることをご理解ください。

みたけ未来トーク 事前質問

No.	質問（要約）	担当課	回答
10	役場新庁舎など必要な予算が増大する中、住民本位に考えてほしい。	企画課	鉄道存続かバス転換かのいずれの選択であっても、公共交通を確保していくためには費用負担が生じます。 費用の視点だけでなく、住民の日常生活を支えながら、地域活力と地域の持続可能性を高めるための手段としての公共交通という視点を踏まえた結論になるよう検討・協議します。
11	交通の便が良いというのは、他町村の住民アンケートでもトップではない。子育てがしやすく、老人の安心できる環境、共助の育つ地域社会を目指して、電車のない八百津町同様、観光などに力を入れてほしい。もう電車はいらない。バス路線へ歴史的英断を待っている。	企画課	子育てのしやすさ、高齢者が安心できる環境づくり、共助の育つ地域社会、観光強化という面が地域の将来にとって重要であるという認識は一致しています。 これらを実現していくために、この地域にどのような公共交通を確保する必要があるかという点を踏まえて判断をします。
	○まちづくりについて		
12	公約で「町民が誇りを持てるまちをつくれます」と言われたが、具体的にはどんなまちを目指しているのか教えてほしい。また、それを目指してこの2年間取り組まれ、成果はどうか。今後、どのようなことを具体的に進めていくか。	まちづくり課	「町民が誇りを持てるまち」とは、誰もが安全・安心に暮らせ、誰もが愛着を感じられ、そして町民自らがまちづくりに参加し貢献できる実感を持てるまち、これらの実現により生まれる活気ある地域コミュニティこそが「誇りを持てるまち」であると考えております。 こうした理念に基づき、将来の担い手となる子育て世代への支援や少子化対策に取り組むとともに、車座懇談会による町民意見の聴取、ファンクラブ「Take-Mi」を通じた取組み等、地域コミュニティの基盤づくりを進めてまいりました。 取組み結果の一例ではありますが、「Take-Mi」については開設から半年で1,000人を超える登録者（みたけファン）を獲得したところです。 今後の取組みについては、例えば「Take-Mi」を核に地域課題解決と交流を目的としたプログラムの実施や会員同士の直接的な交流機会を創出することで、町民が主役となり町内外の人と繋がりながら共にまちを盛り上げていく仕組みの構築を考えております。

みたけ未来トーク 事前質問

No.	質問（要約）	担当課	回答
	○関係人口について		
13	関係人口を増やす目的としてファンクラブを立ち上げられたが、結果について手ごたえを感じているか。具体的にどんな未来を描いているか。	まちづくり課	「Take-Mi」については、立ち上げから半年で1,000人を超えるファンを獲得できたこと、それらの方々から高い関心と今後の活動に対するご期待をいただいております。一定の手ごたえを感じているところです。 今後は、「Take-Mi」を核に、地域課題解決と交流を目的としたプログラムの実施や会員同士の直接的な交流機会を創出することで、町民が主役となり町内外の人と繋がりながら共にまちを盛り上げていく仕組みの構築を考えております。 こうした「協働・共創によるまちづくり」により活気ある地域コミュニティを実現することで、「町民が誇りを持てるまち」を目指します。
14	関係人口を増やすと言っても、全体として人口が減少するのは紛れもない事実であり、他市町村などとの取り合いになることを踏まえ、今の町民サービスの方が重要ではないか。町外から人口を増やすことよりももっと町内をみてほしい。	まちづくり課	ご意見のとおり、町民への行政サービスの維持・向上は町政運営の根幹であり、最優先事項であると認識しております。 その上で、関係人口の取組みは、町民サービスと二律背反するものではなく、むしろ長期的な視点において町民サービスを補完・充実させ、地域を持続可能にするための重要な施策であると考えております。 今後も町民が誇りを持てるまちづくりを最も大切なベースとして取り組みつつ、その魅力を外にも発信していく「両輪のまちづくり」をすすめてまいりたいと考えています。
15	インバウンドについては、町外でPRするよりも今来ている人の意見を吸い上げて、一つ一つ対応すべきではないか。例えば、英語の案内・パンフレットがない、謡坂あたりに町営の駐車場がほしい、細久手まで進むためのバス運行など。	まちづくり課	ご意見のとおり、外国人観光客の誘致促進には、多言語での案内・パンフレット等の受入環境整備が重要であると認識しており、外国人観光客や訪日商品を造成・販売する旅行会社等から意見聴取しながら対策を検討してまいりたいと考えております。
	○願興寺について		
16	本堂完成後、仏像群は本堂内に安置されるのか。現在の宝物館はどうなるか。	まちづくり課 生涯学習課	本堂完成後も仏像群は、霊宝殿（宝物館）に安置されます。 また、霊宝殿の改修等につきましては、願興寺とともに考えてまいります。

みたけ未来トーク 事前質問

No.	質問（要約）	担当課	回答
17	完成後の願興寺の維持費用は誰が負担するのか。願興寺は檀家数も少なく、維持費用を捻出できるのか。仏像等の所有権は宗教法人にあると思うが、維持費用は町が今後も負担するのか。	まちづくり課 生涯学習課	維持費用は基本的に願興寺が負担することになります。 ただし、文化財の保存に関わる警備委託や消防設備の保守点検については、町が願興寺の申請に基づき予算の範囲内で補助金を交付します。
18	完成後の仏像の拝観は、いつでも好きな時に拝観できるのか。また、誰が拝観受付を行うのか。	まちづくり課 生涯学習課	寺社・仏像等の所有者は願興寺ですので、一義的には願興寺が検討されるものと考えております。 一方、令和6年度に策定した『重要文化財願興寺の保存と活用に関する計画』では、貴重な仏像群を見学するための体制についても課題として提言されておりますので、願興寺とともに課題解決に向けて考えてまいります。
19	完成後の拝観を増やすため、今からのPRの施策を教えてください。	まちづくり課 生涯学習課	寺社・仏像等の所有者は願興寺ですので、一義的には願興寺が検討されるものと考えております。 一方、令和6年度に策定した『重要文化財願興寺の保存と活用に関する計画』では、文化財の「保存」を軸にそれらの価値・魅力をまちづくりに「活用」することの重要性が提言されていますので、願興寺とともに課題解決に向けて考えてまいります。
20	願興寺、中山道、御嵩駅を中心としたまちづくりと言われているが、御嵩駅を降りて見える仮囲いに完成まで●●年と表示するとか、完成予想図を描くとか具体的なPRを考えたらどうか。	まちづくり課 生涯学習課	令和7年度中に仮囲いが解体撤去されはじめ、令和8年度に工事が完成する予定です。 ご提案いただいた方法も参考にしながら、願興寺とともに今後のPR方法を考えてまいります。
21	本尊、日光・月光像、四天王像に12神将といった願興寺の仏像群は大変すばらしい。もっと光をあてたらどうか。	まちづくり課 生涯学習課	これまで、十二神将展（平成29年度/中山道みたけ館）や伝教大師1,200年大遠忌記念での薬師如来坐像の展示（令和3年度/東京国立博物館）などが実施されました。 いただいたご意見も参考にしながら、願興寺とともに今後のPR方法を考えてまいります。